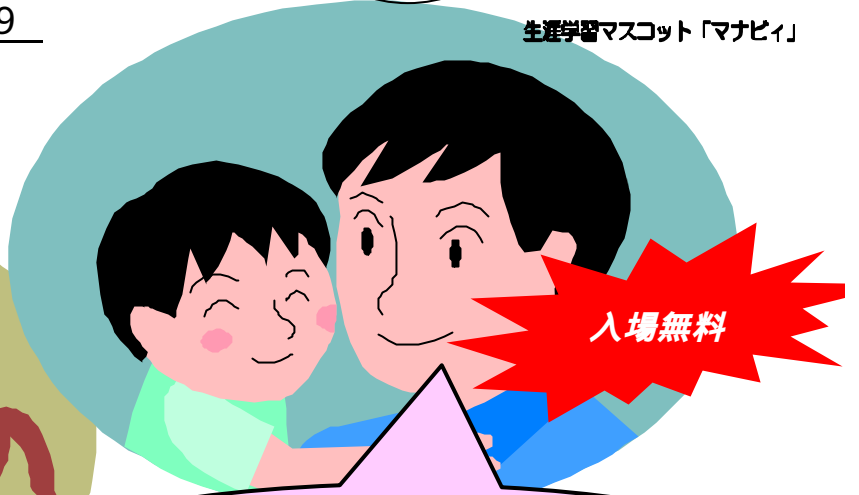




平成17(2005)年1月 No.9

生涯学習マスコット「マナビィ」

ボランティア  
って何?



入場無料

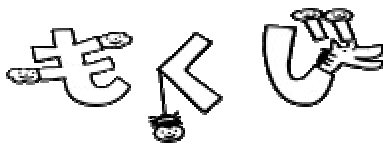
じゃあ、フェスティバル  
に行ってみよう!

第5回

## ボランティア・市民活動フェスティバル

誰でもない あなたの心が <sup>ひら</sup>未来を拓く

ステージの部	と き：平成17年2月27日(日) 午前10時～午後4時
実演の部	ところ：市民交流センター(キックス)
展示・フリマ	主 催：かわちながのボランティア活動推進委員会 河内長野市
食の提供の部	後 援：河内長野市教育委員会
ポスター展	お問合せ：同委員会事務局 市役所市民参加グループ 53-1111(内線255)
防災コーナー等	詳しくは 裏面へ



第9号 目次

ボランティアコーナー	2 P
kiwi(男女共同参画)コーナー	3 P
マナビィ(生涯学習)コーナー	4・5 P
キッズi(子どもセンター)コーナー	6~8 P

## ステージ


演技を発表しま〜す！！  
 河内長野市スポレク協会 健康スポーツ部  
 輝いて！みんな体操仲間  
 ゆっくりっく体操  
 着物リメイクファッションショー  
 NPO 法人 たすけあい  
 三曲 (琴・三味線・尺八)の演奏  
 河内長野三曲協会  
 子どもの演奏もあります。

## 食のコーナー (有料)

ピザトースト  
 ロシアンケーキなど  
 花づくりボランティア“花の精”



## その他

- ・防災を考えるコーナー  

 災害への備えは万全ですか？  
 防災情報や、ボランティア活動について紹介します。また、ファッションショーでは、防災に関係した作品も出展予定です。
- ・ボランティア・市民活動情報提供コーナー  
 ボランティア経験の豊かな人材があなたのお越しをお待ちしています。
- ・消費者相談 かわちながの消費者協会

## 実演 (一部実費負担あり)

楽しい歌体操に寄っといでー  
 いきいき歌体操河内長野  
 リズムに乗って身体をほぐしましょう  
 ゆっくりっく体操  
 人生悠遊いきいき講座  
 NPO 法人たすけあい  
 ハリコンを使ってブリクラを作ろう！他  
 パソコンクラブながのうえぶ  
 手話教室  
 河内長野市三部会 (聴言部会・てのひら・さくらんぼ)  
 字幕映画の上映会  
 ゆっくりっくかわちながの字幕サークル



## 展示・フリーマーケット

- ・展示 (32 団体)  
 福祉・環境・国際・子どもなど、いろいろな団体の活動に出会えます。
- ・フリーマーケット (16 団体)  
 意外な掘り出し物があるかも。  
 参加団体の詳細は、市民参加グループへ。

## ポスター展

「ボランティア」をテーマとした市内小・中学生の作品を一挙展示。各種賞の発表のほか、当日審査もあります。



### 参加団体からのメッセージ(取材から)

#### NPO法人地域生活ネット

##### ゆっくりっくかわちながの

地域のいろいろな人々がつながり合うことで、障害を持った人も、自分らしく生きていけるような社会の実現を目指しています。イベントでは、体操や字幕映画の上映を行います。障害者も仕事や生きがいを持ち、自立していけることをPRしていきたいと思っています。

#### NPO法人 たすけあい

老いてもなお永く地域に住み続けるために、今のうちからお互い困っている所を助け合うことを模索しませんか？  
 このイベントでは、着物のリメイクショーと若返りエステをします！足もみマッサージもありリフレッシュすることうけあい！私たちのモットーにしている「たすけあい」の精神を少しでも感じ取っていただければと思います。



### ボランティア・市民活動団体の主な行事予定 (H17年2・3月、団体名は略称)

<p>2月                  13日(日) ボーリング大会(心身障害児者父母の会)                  13日(日) アイラブ・チャリティ1万人コンサート ピンクレディと楽しもう!                  (手話サークルてのひら、手話サークルさくらんぼ、聴言部会)                  19日(土) 講演会「これからの老人施設について」                  (痴呆症介護者家族の会)                  26日(土) 127回例会「トムのサーカスワークショップ・ショー」(おやこ劇場)                  初旬～ 大阪天満宮盆梅展(NPO法人アジア文化連盟)</p> <p>3月                  12日(土) 第85回つどい(痴呆症介護者家族の会)                  13日(日) スプリングコンサート(心身障害児者父母の会)</p>	<p><b>お問い合わせ：</b>                  心身障害児者父母の会                  (65-6269 輿水こしみず)                  手話サークルてのひら                  (63-1285 川本)                  痴呆症介護者家族の会                  (54-2343 西尾)                  NPO 法人                  アジア文化連盟                  (56-2979 李)                  おやこ劇場                  (52-4690)</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

新潟中越地震義援金のための募金にご協力いただきありがとうございました。これらは新潟県災害対策本部に義援金として12月27日に送金いたしました。

(当委員会受付分)  
 街頭募金 3日間:291,589円  
 各団体から募金 23団体:223,163円

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(配偶者暴力防止法)が改正されました(改正法は、平成16年12月2日施行)

1. 「配偶者からの暴力」の定義の拡大
2. 保護命令制度の拡充  
離婚後も暴力が続く場合、元配偶者も対象とする。  
被害者と同居する未成年の子どもも接近禁止命令の対象とする。  
退去命令の期間を二ヶ月に拡大。  
退去命令についても再度の申立てを可能とする。
3. 市町村による配偶者暴力相談支援センターの業務の実施が可能
4. 基本方針及び基本計画の策定
5. 被害者の自立支援の明確化
6. 警察本部長等の援助
7. 苦情の適切かつ迅速な処理
8. 国籍、障害の有無等を問わない  
人権の尊重

内閣府では配偶者からの暴力被害者情報支援サイトを開設しています。  
<http://www.gender.go.jp/e-vaw/index.htm>

## 「親らしさ」ってなんだろう? ～子育て・自分育て～

「これって叱りすぎ?」「これで良いのかな?」・・・不安に思ったことありませんか? 「親として」「親だから」とひとりで頑張っていませんか? 頑張ってるのに、自信が持てない。相談できない。など感じたことがある方に、子育て環境や子どもとの接し方について、みなさんと一緒に学んでみませんか?



	日程	テーマ	詳細	講師
1	1/22 (土) 14~16時	子育て・自分育て	3歳児 神話って何? 親らしさって何? ひとりで悩んでいませんか?	子・己育ち相談「リリーフ」主宰 小谷 訓子
2	1/29 (土) 14~16時	子どもの情報環境を考える～メディア・リテラシー～	インターネット・携帯などのメディアから子どもを護る・考える	NPO法人「女性と子どものエンパワメント関西」代表 田上 時子
3	2/5 (土) 14~16時	スター・ペアレント～親を楽しむ5つのスキル～	親も自分を大切にしながら、叩かず、甘やかさず、そして楽しみながら子育てする方法を学びます。	

1回でも、連続でも受講可

場所：市民交流センター 中会議室(3階)

対象：一般(市内在住・在勤・在学) 定員：30人

受講料：無料(ただし、駐車場は有料)

一時保育：10人(1歳～未就学児、先着順)

申込方法：1月6日(木)から電話で。(先着順)

住所・氏名・年齢・電話番号・保育希望の有無



あなたは、普段ご家庭で食事の支度をされていますか?



「よくする」と回答  
女性 82.6%  
男性 9.2%  
(H15河内長野市民意識調査より)

### 【このページの申込・問合せ先】

市民文化部生涯学習推進室 男女共同参画センター  
〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1  
市民交流センター(キックス)内  
0721-54-0003  
e-mail [kiccs@mbox.city.kawachinagano.osaka.jp](mailto:kiccs@mbox.city.kawachinagano.osaka.jp)



## 「おんなとおこのワイワイあごら」開催報告(11月27日(土) 市民交流センター)

### ホルム麻植佳子さん 講演会 「女も男もともに生きる社会とは」

今年の「おんなとおこのワイワイあごら」での講演会は、ホルム麻植佳子さんをお招きしました。

「男だから、女だからと問わずに普通にやっていたらいいんや。」麻植さんは、福祉先進国スウェーデンで看護師として医療・福祉に携わり、スウェーデンの男性と結婚、子育てをした経験から、北欧と日本の男女のあり方のちがいを大阪弁で熱くわかりやすく語っていただきました。

今の日本の出生率は1.29。今後50年経たない間に日本の人口は半分近くになる、といわれています。なぜ? 「社会そのものが産めないようにしているんです。」日本では子育ては妻だけの仕事。育児+家事+仕事では倒れて当たり前。北欧やフランスでは子育てを社会が支援する政策で出生率が回復しました。子育て中の医療費や教育費が無料だけでなく、総労働時間短縮やワークシェアリングなど男女ともに子育てができるゆとりある社会に構造改革したからです。そして現在の、高齢者介護の現場の報告から、抑圧し続けた夫を虐待する妻、ひたすら従順でばけてしまう女性、家事のできない男性など、自立のできていない日本を鋭く突きます。「男女の区別はあっても生きる価値概念としては対等。日本の超少子・超高齢化問題は男女共同参画に非常に関係しているんですよ」と話す麻植さんに会場は熱い拍手を送りました。(詳細は おんなとおこのワイワイあごら報告書(平成17年3月末発行予定)をご覧ください)



むかし伝説探偵団 No.8 「高野街道を歩く」

(きずな)

(こうしじょう)

# 母と娘の絆をしのぶ「孝子地蔵」

雨上がりの石川のほとりを歩くと、うっすらと霞(かすみ)が出て、雲が立ち上る山並みは、昔の旅人が見ていた景色とさほど違いはないように思えます。

.....

東国や京都からの参詣道である東高野街道には、石川を渡り、富田林、錦織を過ぎて千代田神社の境内に通じる坂の途中に、高野参りに苦労した母娘にちなむ、孝子地蔵の由来が書かれている碑があります。

この碑は、元文1年(1737年)に建てられた「左まきのを道」(左へ進むと槇尾山という意味)と記した道標です。

昔、東国から西国巡礼に出かけた母娘があり、母親は長旅の疲れと雪深い寒さの為にこの地で倒れ、娘は村人の手伝いをしながら介抱に尽くしましたが、母親は帰らぬ人となりました。

村人は母親を無縁墓に手厚く葬り、娘をなぐさめました。

年を経て娘は再びこの地を訪れ、世話になった村人に礼を述べて、母の霊と道中でなくなった人を供養するため、村人と相談して一体の地蔵尊をまつりました。

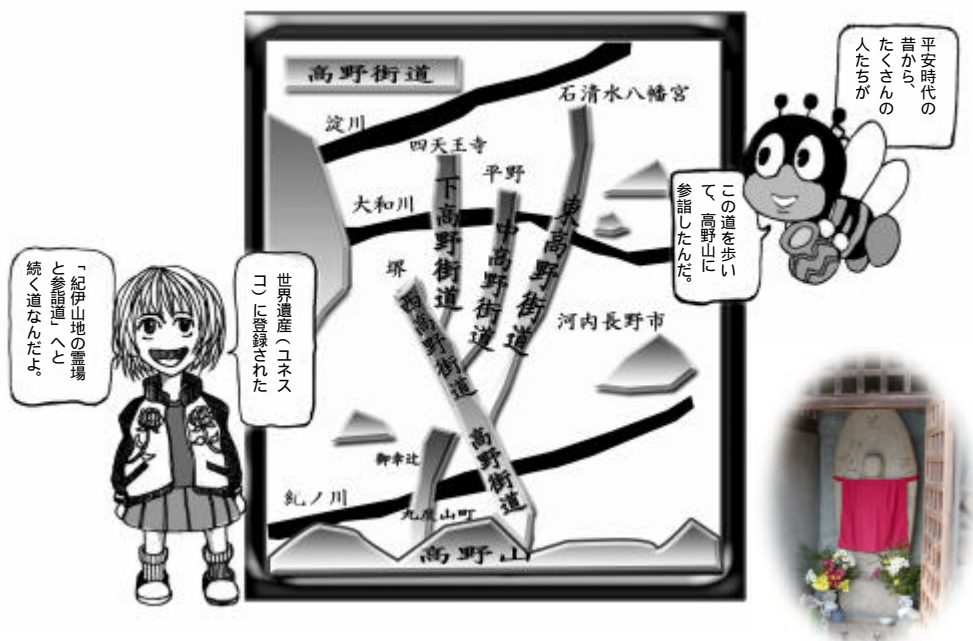
後年、その孝心(親に孝行しようとする気持ち)を称えて「孝子の地蔵さん」と呼ばれるようになったとのこと。

今でも、家に病人が出たり、子

どもが夜泣きをしたりすると、この地蔵さんにお参りするそうです。

現在、千代田神社の境内には高さ20~30mほどの楠(くすのき)の大樹が茂り、古い街道のおもかげを残しています。

文化遺産と自然景観を兼ね備えた高野街道を歩いて、悠久の歴史に思いをさせてみてはどうか。(次号につづく)



## グループ紹介

# 川柳のススめ

千代田公民館で活動している川柳の会「長柳会」を訪ねました。

今年17年目を迎え、最初3人から始まった会員は現在29名となっています。川柳とは「人間を読み、人間性を認め合い、ほっとして笑うもの」だそうです。

どうして始めようと思ったのかインタビューしてみました。

「文章を書くのが大好きだったこと、川柳の入口が広く、とっつきやすかったことです。しかし、やり出してみると卒業がありません。個性が勝負で難しいです。」と創りはじめて7年と言われる女性

が答えてくれました。また、一冊の小さなノートを見せてくれた男性は、「その時々思い浮かんだことを書き留めます。眠るときも枕元に置き、夜中に目が覚めて浮かんだことを懐中電灯で照らして書き留めます。自分の句が入選したときには、思わず照れてしまいます。」と笑って話してくれました。

月2回公民館に集まり、決まったお題で川柳を創作します。それを集め、選者がこれはと思う句を選び、読み上げます。一句一句読み上げられるたびに、皆さんがうなずいたり、拍手したり、笑い声



が上がり、部屋の中に、熱気がムンムン立ち込めて、とても楽しい雰囲気伝わってきました。

「いつからか叱らぬまるい父の肩」肩書きを無くして見せる人間味」「難波発となりの肩で夢をみる」いかかでしょう。皆さんも一度、川柳の戸をたたいてはどうか。連絡先：世話人の西山幸雄さん(52 6228)

# 文化財を前に小学生ガイドが大活躍

市内の文化財が特別公開される「ぐるっとまちじゅう博物館」という事業の一環として、天野山金剛寺や観心寺の国宝・重要文化財の解説に、市内の小学校の児童たちが参加していると聞き、現地へ取材に行ってきました。



こども解説員が解説中

金剛寺の南大門をくぐると、川のせせらぎの音がして、所々真っ赤に燃えた紅葉（もみじ）が、秋の日の光に輝いています。

この日は、1年生から英語を学習しているという天野小の6年生の児童たちが、日頃の郷土学習の成果を発揮し、「こども解説員」となって、訪れた人に、日本語と英語でガイドをしてきていました。

2～3人が1組になり、それぞれ宝物の前に立っています。手には日本語と英語で書いた資料を持ち、少し緊張した様子です。

「これは何年前に建てられたものですか」と、始めはこちらから声をかけていましたが、だんだんリラックスしてきて、子どもたち

のほうから「説明しましょうか」と、笑顔で声をかけてくれるようになりました。懸命になって解説する姿に感動しつつ、試みに、英語での解説もお願いしてみると、わかりやすい英語の解説を快く披露してくれました。

パンフレットの文字での説明に比べ、子どもたちの恥ずかしさをこらえたかわいい声や表情の解説は、とても楽しいものです。きっとわがまち河内長野市、わが地域天野山について、事前に資料を何度も読み返し、今日の本番に臨んでいるのでしょう。

子どもたちのほほえましい光景に、何か満ち足りた、さわやかなうれしさが心に残りました。

## 古代の腕飾りが里帰り！

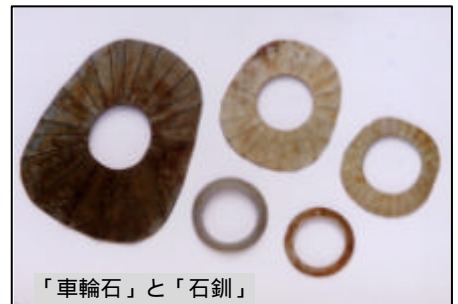
府立泉北考古資料館（堺市若松台2丁）で開催されている里帰り展「南河内の大豪族 - 大師山古墳出土の腕飾り -」を見学しました。

古墳時代前期（4世紀ごろ）に和泉、大和、紀伊に通じる要衝の地である南河内を支配した豪族によって築造されたという大師山古墳（現在の日東町）は、昭和5年、大師堂再建のために整地された際

に発見されました。

発掘調査によって、古墳とともに数々の遺物が発掘され、当時の三日市村役場に保管された後、東京国立博物館に移管されました。

この遺物の一部が、今回展示されている鍬形（くわがた）石、車輪石、石釧（いしくしろ）、と呼ばれる碧玉製腕飾（へきぎょくせいうでかざり）などです。



「車輪石」と「石釧」

古代人の技術に驚き、その精巧さに感動しました。この里帰り展は、来年3月13日まで開催されています。詳しくは同資料館（072-291-0230）へ。

生涯学習こらむ

あつ、危ないっ！

最近特に、交通マナーの悪さが目立ってきているように感じます。

まず自動車。バスが発車しようとしているときに、その横を当たり前のように通り過ぎる。横断歩道を渡るうとしている人がいるのに、譲らず通り過ぎる。狭い道なのに、携帯電話片手に運転する。これらは全て教習所で禁止行為として教えられていて、道路交通法違反です。

バイクでは、大型バイクは、自動車側から危険に感じるような急な車線変更が目につき、スクーターは、ヘルメットなしや、2人乗りを見かけることが珍しくありません。

自転車はどうでしょうか。歩道を猛スピードで走り、前を行く歩行者に何度もベルを鳴らす人、2人乗りでふらつきながら走行する人をよく見かけます。

歩行者も例外ではありません。子どもの見ている前で堂々と赤信号で横断する人や、まわりに気を配っていない人を見かけることが多いように思います。

「狭い日本、そんなに急いでどこへ行く」なんて言われたのは、いつのことだったでしょうか。もう少し余裕を持った交通を心がけるようにしたいものです。

